

# アダム・ミツキェヴィチ大学

## 東洋研究所日本研究科・日本学専攻科 概要

2021年8月現在（2022年2月3日編集）

### 1. アダム・ミツキェヴィチ大学

アダム・ミツキェヴィチ大学はポーランドの主要都市の一つポズナンに位置し、現在4万人近くの学生を擁する国立大学である。1611年に成立したイエズス会コレギウムを前身とし、大学としては1919年にポズナン大学 Uniwersytet Poznański の名で創立、1955年にアダム・ミツキェヴィチ大学 Uniwersytet im. Adama Mickiewicza に改称、現在の正式名称は Uniwersytet im. Adama Mickiewicza w Poznaniu / Adam Mickiewicz University, Poznań である。2019-2020年度にはカレッジ (szkoły dziedzinowe) 制が導入され、自然学カレッジ (生物学部、地理・地質学部)、理学カレッジ (化学部、物理学部、数学・情報学部)、言語文学カレッジ (ポーランド語・古典文献学部、新文献学部、英文学部)、社会学カレッジ (社会経済地理学部、政治・ジャーナリズム学部、法律・管理学部、心理・認知学部、社会学部、教育学部)、人文学カレッジ (考古学部、歴史学部、哲学部、人類・文化学部、芸術学部、神学部) の5カレッジ20学部を有する。

ポーランドでは国立の教育機関の教育を無償で受けられる権利が保障されているため、本学でも学生は原則として授業料を払わなくてもよい。ただし、留年や再履修、夜間コースや専攻カリキュラムに含まれない科目の受講は有料となる。

#### 参考オフィシャルサイト：

[アダム・ミツキェヴィチ大学 (英語)] <<https://amu.edu.pl/en>> (2022年1月31日)

### 2. 新文献学部・東洋研究所・日本研究科・日本学専攻科

本学の日本学専攻科 Japonistyka / Japanese Studies は新文献学部 Wydział Neofilologii / Faculty of Modern Languages and Literatures にある東洋研究所 Instytut Orientalistyki / Institute of Oriental Studies が運営、それに所属する日本研究科 Zakład Japonistyki / Department of Japanology の研究・教育スタッフが教育に当たっている。

新文献学部には、9つの研究所の下に様々な外国語を実践的に学びながら言語・文学を研究する専攻科が開設されている。東洋研究所は2020年1月1日に Katedra / Chair から Instytut / Institute へと拡張したことから、現在では日本学専攻科の他に、アラビア学専攻科、中国学専攻科、インド学専攻科、トルコ学専攻科、インドネシア語マレー語専攻科などの専攻コースの教育にかかわっている。

ミツキェヴィチ大学における日本語教育は1973年に始まり、1987年に隔年募集の日本学専攻科 (5年制修士課程) を開設、2001年より毎年入学生を募集することとなった。2007年には3・2制 - 3

年制第1学位(学士)課程・2年制第2学位(修士)課程(+博士課程)制度に移行、さらに2010年には日本学専攻科第1学位(学士)課程の夜間コースを開設、現在に至る。

日本研究科の現スタッフは、常勤ポーランド人8名・常勤日本人5名・非常勤ポーランド人講師4名(博士課程学生の教育実習を含む)の合計17名。2020年度の入学者数は第1学位課程(通常のコースと夜間コースの合計)87名、第2学位課程17名、2020年10月現在在学中の学生は総計約200名。

卒業生の進路はポーランド国内外の日本語教育・研究機関のほか、通訳・翻訳業、在ポーランド日本国大使館、駐日ポーランド共和国大使館、各民間企業など。

#### 参考オフィシャルサイト：

[本学新文献学部(英語)] <<https://wn.amu.edu.pl/en>> (2022年1月31日)

[本学東洋研究所(ポーランド語のみ)] <<http://orient.amu.edu.pl>> (2022年1月31日)

[本学日本研究科(ポーランド語のみ)]

<<http://orient.amu.edu.pl/struktura-instytutu/zaklad-japonistyki>> (2022年1月31日)

### 3. 日本学専攻科の新カリキュラム

以下に2020年度入学生についてから実施されている日本学専攻科の新カリキュラムを紹介する。「日本語演習」という科目には、ポーランド語による文法やテキストの分析・翻訳・作文・日本語弁論・アカデミックジャパニーズ・ビジネス日本語などの授業も含まれている。旧カリキュラム(2018年度及び2019年度入学生を対象に実施)との違いは、選択科目が増え、3年次までに義務であった職業実習がなくなることであろう。

#### 第1学位(学士)課程

学 年	科目名	年間 時間 45分 X	学 年	科目名	年間 時間 45分 X
一 年 生	日本語演習	390	二 年 生	日本語演習	390
	日本語の表記	120		日本語の表記	120
	日本文明	60		日本語記述文法	30
	言語学入門	30		日本文学史(2学期選択あり)	60
	文学入門	30		日本史	60
	日本語記述文法	30		翻訳論入門	30
	選択科目	60		選択外国語	60
	選択外国語	30		アジアの文明(選択)	60
	体育	60			
	計	810		計	810

三 年 生	日本語演習	240
	選択日本語演習（ビジネス日本語／ テキストの分析）	120
	日本語の表記	75
	日本語古典講読	30
	翻訳演習（選択）	60
	日本文学史	30
	選択科目（日本語史／日本の文化と 芸術）	30
	選択外国語	30
	卒業研究予備ゼミナール	30
	卒業研究ゼミナール	30
	計	675

学士課程 総計 2295 時間

## 第 2 学位 (修士) 課程

学 年	科目名	年間 時間 45 分 X	学 年	科目名	年間 時間 45 分 X
一 年 生	日本語演習	270	二 年 生	日本語演習	150
	日本語の表記	60		日本語の表記	20
	翻訳演習	90		翻訳演習	30
	日本文明	30		選択科目	30
	特別講義	60		修士論文ゼミナール	60
	選択外国語	60		計	290
	修士論文ゼミナール	60			
	計	630			

修士課程 総計 920 時間

参考：

[ 本学日文学専攻科 2020 年度入学生対象のプログラム（ポーランド語） ]

<[http://orient.amu.edu.pl/wp-content/uploads/2020/06/PS\\_DL\\_DU\\_Japo\\_od2020SZ.pdf](http://orient.amu.edu.pl/wp-content/uploads/2020/06/PS_DL_DU_Japo_od2020SZ.pdf)> (2022 年  
1 月 31 日)

(文責：ジョンデクなぎさ)